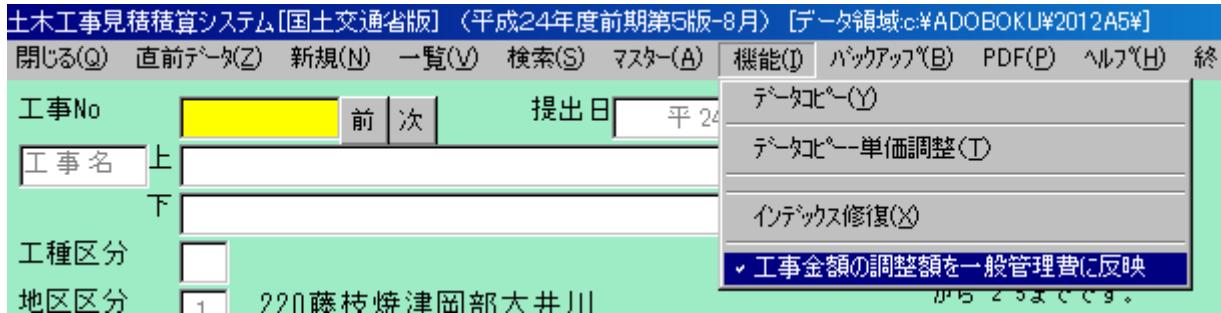


※1. 間接工事費(一般管理費)の端数整理方法の選択の追加

工事登録画面のメニューに 工事金額の調整額を一般管理費に反映 というチェック項目を追加しました。



1. チェックをつけない場合

従来どおり 工事価格に千円単位に端数処理した一般管理費を加算します。

<参考例>

工事原価 18,037,700 円

一般管理費等 18,037,700 円 X 0.1294 = 2,334,078 円 => 2,334,000 円

工事価格 18,037,700 円 + 2,334,000 円 = 20,371,700 円 => 20,371,000 円

2. チェックをつけた場合 (今後は通常こちらになります。)

一般管理費率から算出した額を上限とし、工事価格が千円単位になる金額を一般管理費とします。

<参考例>

工事原価 18,037,700 円

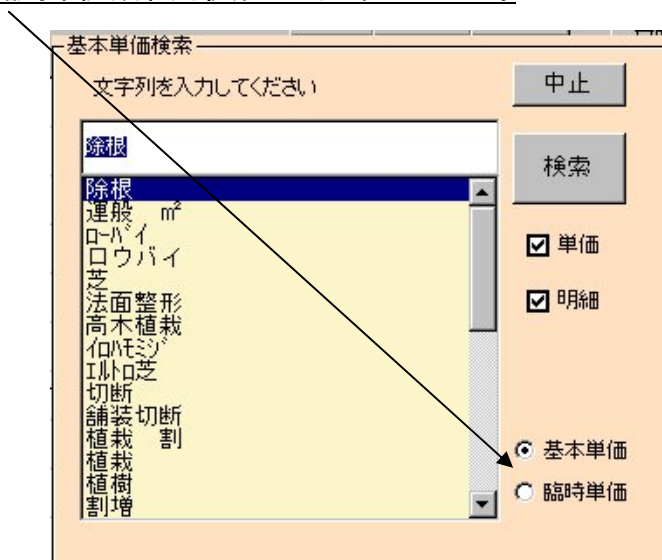
一般管理費等 18,037,700 円 X 0.1294 = 2,334,078 円

18,037,700 円 + 2,334,078 円 = 20,371,778 円 => 20,371,000 円

20,371,000 円 - 18,037,700 円 = 2,333,300 円 => 2,333,300 円

工事価格 18,037,700 円 + 2,333,300 円 = 20,371,000 円

※2 文字検索において、臨時単価(明細)も検索できるようにしました。



※3 労務費の夜間補正が一部簡単に入れ替えできるようになりました。

1.夜間補正する明細を開きます。

画面右上に 夜間労務費 の ボタンがありますのでクリックします。



2.下記の画面が表示されます。

1列目は標準、4列目は x1.5 の夜間単価、6列目は夜間8時間深夜6時間の労務単価です。

No	種別	標準単価	No	夜間(x1.5)	No	夜間8h深夜6h
1	一括変更 <=標準単価へ入替		一括変更 <=夜間単価(x1.5)へ入替		一括変更 <=夜間単価(x1.5)深夜6hへ入替	
2	30002 特殊作業員	15,800	31920	23,700	30482	19,900
3	30003 普通作業員	13,500	31921	20,250	30483	18,000
4	30004 軽作業員	9,600	31922	14,400	30484	13,200
5	30009 どび工	16,500	31923	24,750	30490	22,200
6	30005 石工	21,200	31924	31,800	30485	29,300
7	30006 ブロック工	21,500	31925	32,250	30486	29,400
8	30012 溶接工	19,500	31926	29,250	30491	25,300
9	30007 運転手(特殊)	16,300	31927	24,450	30487	20,400
10	30039 運転手(一般)	14,000	31928	21,000	30488	17,800
11	30008 助手	13,500	31929	20,250	30489	18,000
12	30001 土木一般世話役	18,800	31930	28,200	30481	23,400
13	30014 型枠工	16,500	31931	24,750	30492	23,100
14	30030 大工	18,200	31932	27,300	30493	25,100
15	30032 配管工	16,300	31933	24,450	30494	20,200
16	30042 交通誘導員A	9,000	31934	13,500	30496	11,600
17	30067 交通誘導員B	7,900	31935	11,850	31936	10,500

変更したい夜間労務費の 一括変更のボタンをクリックします。x1.5 の夜間単価を例とします。

3.労務単価が指定した夜間の労務費に自動的に入れ替わります。

3	A	30001	土木一般世話役	人	0.040	18,800
4	A	30002	特殊作業員	人	0.130	15,800
5	A	30003	普通作業員	人	0.260	13,500

が下記ようになります。

3	A	31930	土木一般世話役 夜間 (x1.5)	人	0.040	28,200
4	A	31920	特殊作業員 夜間 (x1.5)	人	0.130	23,700
5	A	31921	普通作業員 夜間 (x1.5)	人	0.260	20,250

4.ただし、下層の明細(この明細の場合機械の運転費)については自動では入れ替わりませんので次の要領で処理してください。

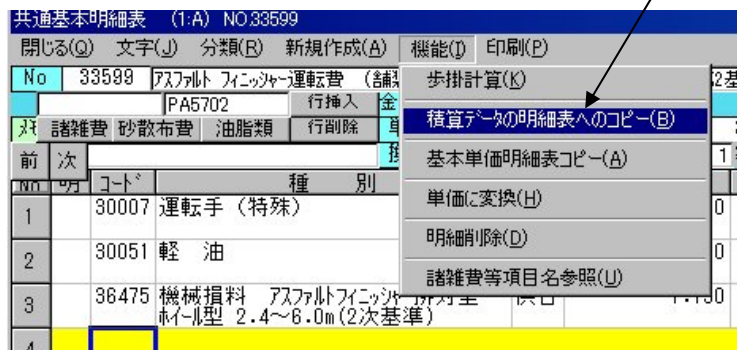
No	明	コード	種別	数量	単価	金額	諸
1	A	31042	再生密粒度アスコン(13)	7.540	11,400	85,956	
2	A	31020	アスファルト乳剤 PK-3	126.000	90.5	11,403	
3	A	31930	土木一般世話役 夜間 (x1.5)	0.040	28,200	1,128 *	
4	A	31920	特殊作業員 夜間 (x1.5)	0.130	23,700	3,081 *	
5	A	31921	普通作業員 夜間 (x1.5)	0.260	20,250	5,265 *	
6	+A	33589	アスファルトフィニッシャー運転費 (舗装) ホイール型 2.4~6.0m級 第2基準値	0.040	89,730	3,589 *	
7	+A	29316	マカダムローラー運転費 (舗装) 排ガス対策型 10~12t	0.040	39,090	1,563 *	
8	+A	29317	タイヤローラー運転費 (舗装) 排ガス対策型 8~20t	0.040	39,870	1,594 *	
9		-30	砂散布費	10.000	16,220	1,622	
10		-2	諸雑費	19.000	16,220	3,081	

6行目のアスファルトフィニッシャの行をダブルクリックします。

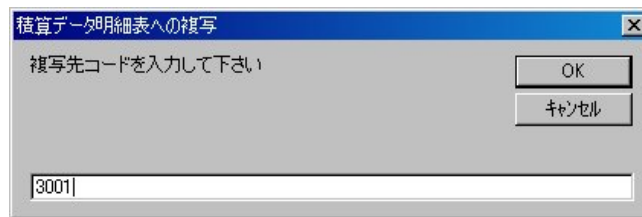
5. 下記のメッセージが出ましたら Ok をクリックします。



6. 明細が開きましたら、メニューの機能の 積算データの明細表へのコピーをクリックします。



7. 任意の明細番号を指定します。例として 3001 とします。(9999 以下で設計書の明細番号と重複しない番号)



8. コード 3001 番で臨時の明細表ができましたので、ダブルクリックして開きます。

No	明	コード	種 別	単	量	単 価
1	A	31042	再生密粒度アスコン(13)	t	7.540	11,400
2	A	31020	アスファルト乳剤 PK-3	kg	126.000	90.5
3	A	31930	土木一般世役夜間 (x1.5)	人	0.040	28,200
4	A	31920	特殊作業員夜間 (x1.5)	人	0.130	23,700
5	A	31921	普通作業員夜間 (x1.5)	人	0.260	20,250
6	+B	3001	アスファルトフィニッシャー運転費 (舗装) 材料型 2.4~6.0m級 第2基準値	日	0.040	89,790
7	+A	29916	マカダムローラ運転費 (舗装) 排ガス対策型 10~12t	日	0.040	39,090
8	+A	29917	タイヤローラ運転費 (舗装) 排ガス対策型 8~20t	日	0.040	39,870
9		-30	砂散布費	%	10.000	16,220
10		-2	諸 雑 費	%	19.000	16,220

9.先ほど(1~3)と同様の方法で夜間単価に入れ替えて閉じます。

明細表 (2-B) NO.3001						
閉じる(Q) データ一覧(V) 文字(J) 分類(R) 新規基本(A) 新規臨時(B) 機能(I) 印刷(P) 市場単価解						
No	3001	アスファルトフィニッシャー運転費 (舗装)	ホイール型 2.4~6.0m級 第2基準値	日		
		PA5702	行挿入	金額合計	89,722	単価
※	施工量		行削除	単位当	1	諸雑費 <input checked="" type="checkbox"/> 8 二次製品
				換算値	1	× 1 実行予算 <input type="checkbox"/>
No	明	コード	種 別	単	数 量	単 価
1	A	30007	運転手 (特殊)	人	1.000	16,300
2	A	30051	軽 油	㍓	62.000	106
3	A	36475	機械損料 アスファルトフィニッシャー 排対型 ホイール型 2.4~6.0m (2次基準)	供日	1.750	38,200



明細表 (2-B) NO.3001						
閉じる(Q) データ一覧(V) 文字(J) 分類(R) 新規基本(A) 新規臨時(B) 機能(I) 印刷(P) 市場単価解						
No	3001	アスファルトフィニッシャー運転費 (舗装)	ホイール型 2.4~6.0m級 第2基準値	日		
		PA5702	行挿入	金額合計	97,872	単価
※	施工量		行削除	単位当	1	諸雑費 <input checked="" type="checkbox"/> 8 二次製品
				換算値	1	× 1 実行予算 <input type="checkbox"/>
No	明	コード	種 別	単	数 量	単 価
1	A	31927	運転手 (特殊) 夜間 (x1.5)	人	1.000	24,450
2	A	30051	軽 油	㍓	62.000	106
3	A	36475	機械損料 アスファルトフィニッシャー 排対型 ホイール型 2.4~6.0m (2次基準)	供日	1.750	38,200
4						

9.残りの下層の明細行も同様に処理します。

※4 選択した単価及び明細を使用している明細データの検索

1. 基本単価の分類一覧から 選択したデータを使用している明細データを一覧で表示します。
 例として No19903 バックホウ運転費(2次)0.80m3(掘削積込)を使用しているデータを検索します。
 データを選択し、メニューの使用明細-基本(A)をクリックします。

コード	種別 1	種別 2	単	単価
19916	バックホウ運転費 排ガス対策型	山積0.80m3 (乗石基礎敷並べ)	日	27,080
19917	バックホウ運転費 排ガス対策型	山積0.80m3 (乗石裏込かき込み)	日	38,360
32996	バックホウ(排ガス) 多孔殻処理工	山積0.8m3(平積0.6m3)±0%	日	52,280
19904	バックホウ運転費 排ガス対策型(2次)	山積0.80m3 (片切掘削)	日	50,680
31889	バックホウ運転費 排ガス対策型(1次)	山積0.80m3 (片切掘削)	日	49,350
19903	バックホウ運転費 排ガス対策型(2次)	山積0.80m3 (掘削積込)	日	53,740
31887	バックホウ運転費 排ガス対策型(1次)	山積0.80m3 (掘削積込)	日	52,280
19962	バックホウ運転費 排ガス対策型(2次)	山積0.80m3 (掘削積込)+25%	日	56,364
26010	バックホウ運転費 排ガス対策型(1次)	山積0.80m3 (掘削積込)+25%	日	54,760
15946	バックホウ運転費 排ガス対策型	山積0.80m3 (芝張替工)	日	49,880
21222	バックホウ運転費 排ガス対策型 2次	山積0.80m3 (砂防ソイル外)	日	58,610
18949	バックホウ運転費 排ガス対策型	山積1.0m3 骨材再生工	日	49,060

下記のように一覧が表示されます。なお、文字検索の結果一覧からも検索できます。

(検索したデータの分類を開きます。)

コード	種別 1	種別 2	単	単価
10560	バックホウ地山の掘削積込 土質・砂質山積0.8m3排ガス対策 障害なし		m3	177
10561	バックホウ地山の掘削積込 土質・砂質山積0.8m3排ガス対策 障害あり		m3	284
10562	バックホウ地山の掘削積込 岩塊・玉石山積0.8m3排ガス対策 障害なし		m3	231
10563	バックホウ地山の掘削積込 岩塊・玉石山積0.8m3排ガス対策 障害あり		m3	381
10568	バックホウワールス状態の積込 土質・砂質山積0.8m3 排出ガス対策型		m3	172
10569	バックホウワールス状態の積込 岩塊・玉石山積0.8m3 排出ガス対策型		m3	204

最初の画面で 使用明細-臨時(E)をクリックした場合は、作成した明細(臨時データ)から検索します。

No	コード	種別 1	種別 2	単位	単価
1	* 2000	バックホウ地山の掘削積込 土質・砂質山積0.80m3排ガス対策型 障害なし		m3	
2	* 2002	バックホウワールス状態の積込 土質・砂質山積0.80m3排ガス対策型		m3	

2. 特定の臨時の単価データを使用している明細(臨時データ)を検索します。

臨時単価の画面で メニューの使用明細一覧(E)をクリックします。

臨時単価(E)

閉じる(Q) 直前文字張付(C) 文字(J) 使用明細一覧(E) 施工パッケージ設定(P)

コード1 2004 コード2 代価表 無 有

コード3

種別1 目地板 (瀝青質板) 施工パッケージ計算

種別2 t=10m/m 単価歩掛計算

単位 m² 参考単価データベース参照

単価 930 小数1桁 積算資料単価データベース参照

処分費等 機械損料データベース参照

2次製品

実行予算

登録(O) 修正(N) 削除(D)

メモ 桁印字

下記が検索結果の画面です。

[No.30424] 使用明細一覧: 3件

閉じる(Q) ソート(S) 印刷(P)

No.	コード	種別1	種別2	単位	単価	二次製品
1	*	2	擁壁工 H=1.4m	m	32,281	9,125
2	*	3	擁壁工 H=1.5m	m	34,700	10,003
3	*	4	水路工	m	8,006	1,627